

3 利用促進

2014年度の利用促進について、報告する。

1-1 利用推進協議会

利用推進協議会は、産学官が連携して当研究センターの利用を推進することを目的に2004年11月に発足した。主に協議会のネットワークを通じて、利用課題募集の情報、各種セミナー及び講習会の開催情報等をメールにより提供した。

表4に2014年度末の会員数を示す。

表4 会員数 (2015.3.31 現在)

属性	会員数
企業	152
大学	245
その他	63
計	460

1-2 利用相談等

企業、大学及び公設試験研究機関等からメール、電話及び来所等により多くの利用相談が寄せられ、利用コーディネーター（副所長（研究・利用担当））を中心に随時相談に対応した。

また、実験終了後に実験責任者からビームタイム利用記録兼アンケート用紙を収集し、その要望を基に利用改善に努めた。

さらに、当研究センターの利用サービスの詳細をまとめた「利用の手引き2014」を配布した。

1-3 講習会等

当研究センターでの利用促進を図るため、「SAGA・LS講習会」（2014年4月10日～11日、17名参加）、「SAGA・LSサマースクール2014」（2014年8月20日～22日、17名参加）、「SAGA・LS実験技術セミナー」（2014年10月24日、19名参加）、

及び「第3回九州シンクロトロン光研究センター試験研究機関利用支援セミナー」（2014年12月19日、13名参加）を実施した。詳細は、V章で述べる。

1-4 光ビームプラットフォーム

2013年度4月から、文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業に基づいて、当研究センターを含めたシンクロトロン放射光施設6機関とレーザー施設2機関で構成される「光ビームプラットフォーム」（<http://photonbeam.jp/>）に参画している。

全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。参画機関は以下の8機関である。

〔代表機関〕

- ・大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（物質構造科学研究所）

〔実施機関〕

- ・公益財団法人佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトロン光研究センター
- ・公益財団法人科学技術交流財団（あいちシンクロトロン光センター）
- ・立命館大学（SRセンター）
- ・公立大学法人兵庫県立大学（高度産業科学技術研究所）
- ・学校法人東京理科大学（総合研究機構赤外自由電子レーザー研究センター）
- ・国立大学法人大阪大学（レーザーエネルギー学研究センター）

〔連携機関〕

- ・公益財団法人高輝度光科学研究センター（SPring-8登録施設利用促進機関）